

しもうち

題字:早梅書

山王山(さんのうやま)153m

しもうちふれあいまちづくり協議会

令和6年2月3日発行



- P2 協議会長年頭のあいさつ
 - P3 ふれあい文化祭 敬老会
 - P4 クリーンアップ 協賛事業所紹介
 - P5 玉入れ大会 山王山登山 ゴルフ大会
 - P6 関市・下有知・各区防災訓練
 - P7 5区環境整備事業 ふれあいクラブ
 - P7 下有知小学校150周年記念
- 特集 医学博士 後藤助吉翁記念碑

元旦当日に、まさか、最大深度7の地震が能登半島で起きるとは夢にも思いませんでした。しかも十数日が過ぎても、被害の全容がつかめず、大雨や積雪に苛まれようとは、神も仏もないものか……。飛騨市が障害や妊娠など、苛酷な環境に身をおけない人に公共施設を開放するニュースが届きました。今は、有効な支援が届くことを祈るばかりです。

下有知の各種情報をホームページで閲覧できます

スマートホンはQRコードでご覧いただけます

下有知ホームページのQRコード

パソコンからは **しもうち** で検索してご覧下さい



まちづくり協議会会長 年頭あいさつ

人の歩み、社会の進み「新年を言祝ぐ（ことほぐ）」

新年を迎えた時期によく聞く言葉に、「新年を言祝ぎ・・・」があります。この「言祝ぐ」という言葉は日本古来の言葉です。「祝う」とほぼ同じ意味ですが、言霊信仰を感じさせる言葉です。これは、「めでたい言葉を口にすると本当に幸せが訪れる」と信じる古くからの日本の文化のなごりと言えます。ちなみに、「寿（ことぶき）」は「言祝ぎ」から変化したものです。



「言霊信仰」

私たちの先祖は日本を「言霊の幸（さき）わう国」と呼んでいました。これは「日本は言霊すなわち言葉が持つ霊力によって幸せになっている国」という意味です。古代の人々は、言葉に霊力が宿ると考える「言霊信仰」を持っていて、美しい心から生まれる正しい言葉は、その言葉どおり良い結果を實現し、乱れた心から生まれる粗暴な言葉は災いをもたらす、と信じていました。

現代でもこの言霊信仰のなごりがあり、例えば結婚式などのお祝いの席では「別れる」「割れる」「切れる」などの言葉は、縁起の悪い「忌み言葉」と言って使いませんし、また、宴の終わりは「お開き」と言います。

「地域コミュニティ」

ところで、私たちが暮らす地域社会は、人と人とのつながりで成り立っており、その中で地域コミュニティも形成されます。その過程においては、様々な機会での打合せや話し合い、会議などがあります。「言霊信仰」の文化は、このような地域社会の場面にも繋がっていると思います。

物事を進める上では、色々な話し合いが行われ、その方向性が決められていきます。その時、お互いに使う言葉に少し気を遣うといいのではないのでしょうか。「前向きな言葉」は「前向きな考え、行動」を導き、ひいては「良い結果」に結びつけてくれるでしょう。すなわち、「前向きで美しく優しい言葉（粗暴な言葉や相手を非難する言葉ではない）を使っていると、物事は良い方向に向かっていく」と思います。

日本は昔から言葉を大切にしてきた国です。新しい年を迎えたこの機会に、日ごろ自分の使っている言葉を振り返ってみてはいかがでしょうか。

そして、今年が皆様にとって下有知にとって「言霊の幸わう年」になることを祈念いたします。

令和6年正月

しもうちふれあいまちづくり協議会 会長 横山伸治

ふれあい文化祭

(10/14・15 文化・交流部会)

10月14日(土)・15日(日)の両日、下有知ふれあい文化祭を下有知ふれあいセンターにおいて開催しました。今年も作品の展示のみとなりました。区民の皆さんや保育園、幼稚園、小・中学校の皆さん、下有知区内の老人福祉施設の皆さんによる絵画や書、写真、手工芸などの作品500点以上が展示されました。下有知地区内外の約500人の皆さんが来館され、一つ一つの作品をじっくり鑑賞し、どの作品にも感心して行かれました。また、和室では下有知小学校ふれあいクラブの子どもたちが、ペットボトルでラップ製作やハンドベル演奏を楽しみました。



敬老会 ～お祝い品の配布準備～

(10/21 福祉・子育て部会)

敬老会のお祝いの品をお届けするために、前日の10月21日(土)に下有知ふれあいセンター内で、配布の準備が行われました。役員の方々が、区会ごとの人数分を手際よく仕分けされていました。配布対象者は78歳以上の皆様です。お祝いの品の熨斗(のし)には、可愛らしい子どもの絵が描かれています。また、コンビニなどのお店で使えるクオカード(千円分)も配られました。

お祝いの品の経費については、関市からの敬老会に対する助成金を主にして、各自治会の会費から納められた下有知まちづくり推進費から一部補填して賄われています。



下有知地区全域でクリーンアップ

(11/12 生活・環境部会)

今年度、クリーンアップ活動が5月28日(日)と11月12日(日)に行われました。下有知地区全域で一斉に道路・空地等で拾われたたくさんのゴミが、下有知ふれあいセンターにもちこまれました。今回も青少年育成協議会の親子クリーンアップの参加と、地域の皆さんに多数参加していただき、ありがとうございました。今後もゴミのポイ捨て防止・ゴミの適正処理などきれいな地域づくりにご協力をお願いいたします。朝早くからのご参加お疲れさまでした。



しもうちふれあいまちづくり協議会事業に協賛いただいている 企業・事業所紹介

マルギン関店 (株)エドランド工業 田中電気工事(株) (株)保険ショップ岐阜 しもうち整体院
(有)森永オート商会 (資)石川刃物製作所 (株)フジヨシ フルタテストカービング アテナ工業(株)
(株)沼田熱処理工業所 (株)岩見鉄工 長野運輸(有) (株)みどり塗装工業所 ミソノ刃物(株) SF オート
エスコート(株) (株)島内製作所関工場 山田接骨院 にしぶ接骨院 三星刃物(株) (株)東洋化学
あずき畑レンタルクリニック 中部電力(株)加茂営業所 美濃関カントリークラブ (株)トヨタモ
ゲンキー(株)美濃インター南店 (株)クスリのアオキ下有知店 セブンイレブン関市下有知北店
(有)三万 松田産業(株)関工場 (株)三晃関事業所 佐藤精密(株) 丸章工業(株) 美義工業(株)
ファミリーマート関しもうち店 おつじ内科クリニック (株)橋本関エコフィードセンター
喜楽鋳業(株)美濃エネルギー工房 日比野プレス工業所 (株)トーヨーキッチンスタイル関本社
(有)コンドウ板金加工 (有)中濃オート (株)アシスト関営業所 BARBERCLUB STYLE
キッチン杉 (有)佐藤建築 (有)島史子寝具店 (敬称略・順不同)

住みやすいまちづくりのために

自治会に加入しましょう!

自治会は、同じ地域に住む人どうしが協力し合って、自分たちの住むまちをより良くするため、生活に密着した様々な活動を行う組織です。そして、こうした活動を通じて、隣近所の方々がコミュニケーションを図る大切な役割を果たしています。普段から、隣近所の人どうしが助け合って生活することで、万が一大きな災害や事件が起きた時にも助け合っていくことができ、何より、安全安心な日々を送ることができるはずです。

関市には566の自治会があり、うち下有知地区には49の自治会があります。(令和4年4月1日現在のデータです。)市全体の自治会加入率は67.6%(35,803世帯中、24,204世帯が加入)です。下有知地区の加入率は56.7%(2,753世帯中、1,562世帯が加入)です。(令和4年5月1日現在のデータです。)。自分たちの住むまちをより良くするために、自治会活動の認識を深めたり活動の質を高めたりして、自治会への参加を促しましょう。

玉入れ大会

(11/12 健康・スポーツ部会)

11月12日(日)にしもうち玉入れ大会を下有知中学校体育館で開催しました。チーム5人が、制限時間3分の間に、101個の持ち玉を所定の籠に正確に投げ入れる数を競うゲームです。予選は参加14チームがA・B・C3つのクラスに別れ、各クラス上位2チームが決勝に進み、決勝戦6チームの熱戦の結果は、1位 黄色いレモン、2位 体育委員会D、3位 かくれんぼ、でした。皆さん、たかが玉入れでも翌日には心地よい筋肉痛を感じられていたようです。また、同時にスポーツ体カテストも開催し、皆さん各種目の測定に挑戦していました。



ふれあい山王山登山

(11/19 文化・交流部会)

下有知のシンボル山王山登山を11月19日(日)に行いました。前日の天気で内心中止になるのではと心配しましたが、曇天となり楽しく登れました。約2.5kmのコースを1時間半の予定で出発しました。最初はなだらかな散歩道でしたが、ところどころで険しい所もありスタッフのアドバイスで気をつけたり、休憩をはさんだりして最後まで歩くことができました。

今回初めての登山でしたが、山王山登山整備会の皆様方が、子どもや年配の方でも楽に歩けるように、きれいに整備していただけたんだなと思いました。山頂から見た下有知の田園や白く輝く御嶽山を、皆さんにも是非見ていただきたいです。



下有知ゴルフ大会

(11/14 健康・スポーツ部会)

11月14日(火)に美濃・関カントリーで第9回下有知ゴルフ大会が開催されました。27の方が参加し、上位入賞を目指して和気あいあいとプレーされました。結果は、優勝 尾口文良さん、2位 三輪幸博さん、3位 丹羽文雄さんでした。



関市防災訓練に併せ下有知防災訓練実施（10/29 安全・安心部会）

関市防災訓練に併せて、下有知中学校体育館で下有知地区自主防災会メンバーらが、危機管理マニュアルに基づき、危機対策本部及び下有知危機対策会議を開催すべく、連絡網において情報伝達を実施しました。避難所運営訓練として、マンホールトイレのテント組立と設置場所の確認、プライベートルームの組立、防災備蓄倉庫の確認を実施しました。



■マンホールトイレ組立



■トイレ内部



■プライベートルーム組立



■防災備蓄倉庫

各地区防災訓練の様子

（自主防災会）

【4区】10月22日（日）に、上井桁、竹林、新竹之内、竹野新田は下有知中央集会所で、重竹、下山、東重竹は重竹公民センターで、関市消防署、関市危機管理課の職員と下有知消防団員の協力を頂き、避難訓練、消火訓練、防災講話（中央集会所）、土のう作り訓練（重竹公民センター）などを行いました。参加者は、109人でした。



【5区】11月26日（日）に、中組集会場にて消防署職員に来ていただき、消火器の取扱説明を聞き多数の人に実際に消火器を使ってもらい、火災が起きた時に慌てずに消火器が使えることを目的に訓練を行いました。参加者は78人でした。



【6区】11月5日（日）に、上切区自主防災会では、上切公民センターにて防災対策にかかる関市出前講座「～考えていますか？防災対策～」（関市危機管理課）を開催しました。災害情報収集・事前の備え備蓄・避難行動の必要性のほか、災害時のトイレ事情の認識とトイレ備蓄の重要性について講習を受けました。



【8区】10月29日（日）に、東志摩区では、参加者84人が公民センターに避難参集し、有事における避難場所等についての話し合いの重要性を区執行部から改めて説明をおこないました。その後、小俣川輪中堤まで場所を移し、止水板の設置訓練を行いました。若い世代に防災技術や必要性を引き継げたものと感じています。



5 区の環境保全事業

ふれあいクラブ～ウシモツゴ調査～

(9/16)

環境保全事業の赤谷池の絶滅危惧種ウシモツゴの生態調査に参加させていただきました。NPO法人（ふるさと自然再生研究会）の塚原さんより、保護活動・調査方法を説明していただき網カゴの仕掛けを投入しました。休憩後に網を引き上げた時はウシモツゴが48匹獲れ、順調な生育を確認できました。ウシモツゴの確実な生息地は、美濃市及び関市内の特定のため池のみです。水系生物の多様性や赤谷池とその周辺の貴重な環境について教えていただき、生育に適した環境保全の大切さを学びました。5区に限らず、花壇整備など環境保全活動が各区で行われています。



★下有知小学校★

★150周年記念★

11月22日、150周年の節目に記念式典を催しました。明治6年、洞泉寺を借り、「修徳義校」という名前で開校されました。その後、昭和22年に「下有知小学校」という名前となりました。様々な歴史を経て150周年を迎える事が出来ました。式典では、池村議員よりお祝いのお言葉を頂きまして、ふれあいまちづくり協議会からは書架と150周年記念クリアファイルを寄贈して頂きました。寄贈して頂いた書架は、小学校の図書館で、子どもたちの知識や想像力を育むために使わせて頂いています。



今回、150周年の企画の一つとして、校歌のミュージックビデオを作成しました。下有知小学校卒業生で映画監督の、八木順一郎さんと実行委員の子どもたちの共同制作により、素晴らしい作品が完成しました。校歌は、100周年の時に誕生しました。150周年では、「令和」の時代らしく、子どもたちが毎日授業で使用しているタブレットで撮影し、八木さんと子どもたちで編集し作り上げました。式典でミュージックビデオを鑑賞した子どもたちのキラキラとした顔が忘れられません。

子どもたちに素晴らしい体験と作品を下さった八木さんにも感謝申し上げます。



今回、無事に創立150周年を迎える事が出来ましたのも、地域の皆さまのおかげであると思っております。下有知小学校の歴史は、卒業生や、下有知小学校に携わって下さった全ての方の歴史だと思えます。在校生や、これから下有知小学校で学ぶ全ての子どもたちに幸せな未来が待っている事を祈っています。また、下有知小学校での思い出がかけがえのない宝物になる事を願っています。最後に、八木順一郎さんの言葉を共有させて頂きます。「ひとりより、みんなで！」下有知小が150周年を迎えた2023年は、全てが“ひとり”で出来る時代でした。

勉強も遊びも仕事も・オンラインが発達し、誰もが“ひとり”で楽しめるようになっていました。

しかし今回、子どもたちは、全校生徒を巻き込み、校歌のミュージックビデオ作りに挑みました。映像は、“ひとり”では作れません。映像を“考える”人がいて、映像を“撮る”人がいて、映像に“出る”人がいて、映像を“見る”人がいます。たくさんの人が関われば、たくさんの視点が入り、たくさんの可能性が生まれます。全てが“ひとり”で出来る時代に、“みんな”で作った校歌のミュージックビデオ。そこには、みんなの笑顔が刻まれていました。何か一步踏み出す時には、必ず周りを巻き込み、形に！今回のプロジェクトに触れた子どもたちひとりひとりが、いつの日か、みんなの時代を作りたいことを願っています！下有知小学校150周年、おめでとう！！

150周年実行委員長 山藤 優弥

11月25日、「150周年記念ぎんちゃん広場」を開催しました。内容は、校舎と体育館に設置された下有知の歴史を体験するブースを回り、地区や小学校の歴史に関するクイズを解いていくウォークラリーを行い、多くの子ども達、保護者の方々に参加して頂きました。子ども達の笑顔を沢山見る事が出来ました。



150周年記念事業で制作した校歌ミュージックビデオをブースの一画で上映しました。校歌ミュージックビデオの制作は、子ども達による実行委員会と八木順一朗監督（下有知小卒業生）が行いました。下有知小学校の子ども達にとって、とても良い思い出と経験が出来たと思います。



今回の150周年記念事業に向けて昨年度の「ぎんちゃん広場」では、子供達に下有知小学校の新キャラクターのデザインをしてもらいました。そこで誕生したのが、「みっちゃん」です。

私自身、PTA本部役員として、150周年に向けて、昨年から活動して参りました。終わった瞬間、ホッとしたのと同時に、これで終わりかと思うと寂しい部分もありました。とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。無事に終わる事が出来たのも、沢山の皆様のお力添えとご協力のお陰だと思います。ありがとうございました。

これからも、下有知小学校は200年、250年、300年・・・と続いて行くでしょう。その歴史の1ページに関わられた事を大変嬉しく思います。

下有知小学校PTA会長 渡邊 憲太

詳細は下有知ホームページの『しもうちふれあいまちづくり協議会』
で閲覧できます。 スマートホンはQRコードでご覧いただけます
下有知ホームページのQRコード
パソコンからは [しもうち](#) で検索してご覧下さい



しもうちふれあいまちづくり協議会

〒501-3217 関市下有知3245番地32 (下有知ふれあいセンター内)

TEL 0575-25-2020 (FAX 共通)

Eメール:shimo-f@ccn3.aitai.ne.jp

ホームページ: <http://shimouchi.jp>

